



学校だより

「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
「徳」 自分を大切に、互いの違いを認め合える子を育てます。
「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
「関」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

令和5年2月28日

横浜市立菅田の丘小学校

校長 若山 京子

3月号

[弥生 March]

日々の積み重ねが成長に

校長 若山 京子



時の流れははやいもので、気づいたら3月、締めくくりの月を迎えようとしています。振り返ればコロナ禍で授業参観や発表会を縮小あるいは中止せざるを得なかったこの2年間でしたが、先日は、授業参観、個別支援学級学習発表会を予定通り行うことができました。保護者の方には、1年生から5年生そして個別支援学級の子どもたちの活動の様子を見ていただくことができました。保護者の皆様は、お子さんの成長をどのように感じられたでしょうか。

子どもたちの毎日の成長は緩やかで、昨日と今日とでは何の変化もないように感じられますが、1年前の姿と比べるとその成長には目を見張るものがあります。子どもたちは、この1年間で様々なことができるようになり、頼もしく成長しているように思います。先日、1年生一人ひとりから国語の学習で書いた手紙をもらいました。手紙には冬休みの思い出が綴られていましたが、楽しい内容にはもちろん、子どもたちがたくさん文字を覚え、漢字も取り入れた長い文章を書けるようになったことに、しみじみ1年間の成長を感じました。こうやって1年間かけて子どもは立派に成長をしていくのだと実感しました。2年生なら2年間の、3年生なら3年間の、そして4年生、5年生、6年生それぞれが送る毎日の積み重ねが、今の子どもたちの成長につながっているのです。そう思うと、教職員として日々丁寧に子どもたちに向き合うことの大切さを改めて感じます。6年生は、今週木曜日に「はばたきの会」を行います。子どもたちは当日に向けて、準備、練習に励んでいます。ぜひ子どもたちの合奏に取り組む姿や自分の思いを発表する姿をご覧ください、6年間の成長を感じていただければと思います。

今、学校では在校生が、お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと、心を込めて準備を進めています。菅田の丘小学校2期目の卒業生となる6年生が、新しい春に向かって大きく羽ばたいていけるよう、全校児童、全教職員で、盛大にお祝いをしたいと思います。そして、5年生の子どもたちは、6年生の姿から大切なことをたくさん学び、「次は自分たちの番。」という決意を胸に最高学年となる自覚をもって、新年度、活躍してくれることを期待しています。

この1年間、保護者・地域の皆さまを始め、多くの方々のお力をお借りしながら、本校の教育活動を進めてまいりました。数々のご理解・ご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。

